

S & P CIVETS 60

CIVETS(シベツ)は周知の通りコロンビア、インドネシア、ベトナム、エジプト、トルコ、南アフリカの頭文字である。これらの国々は第2世代の新興国市場であり、躍動的で急速に変化する経済と増加する若い人口を特徴とする。

スタンダード・アンド・プアーズのCIVETS 60指数(S&Pシベツ60)は、コロンビア、インドネシア、ベトナム、エジプト、トルコ、南アフリカの各国内証券取引所の流動性上位10銘柄を使い、これらの国々の有力60銘柄に対するエクスポージャーを提供するように設計されている。

2011年3月31日現在、南アフリカの指数ウェイトが31.61%で最も多く、インドネシア(28.14%)、トルコ(21.01%)、コロンビア(12.49%)、エジプト(5.68%)、ベトナム(1.07%)が続く。

注目点

指数の構成銘柄は、最低時価総額、浮動株調整・流動性要件を満たしたS&PグローバルBMIとS&PフロンティアBMI指数シリーズの銘柄である。この指数では調整時価総額加重方式が採用されている。浮動株を反映させ、一国への集中を軽減させ、指数バスケットの流動性を確保するために、必要に応じて時価総額加重に調整が行なわれる。

適格性の基準

指数への適格性

S&Pシベツ60に採用される銘柄はまず、コロンビア、インドネシア、ベトナム、エジプト、トルコ、南アフリカのS&Pグローバル/フロンティアBMI国別指数の構成銘柄でなければならない。

適格要素

時価総額 浮動株調整時価総額は5億米ドル以上でなければならない。

流動性 一日当り出来高の3ヵ月間平均は50万米ドル以上でなければならない。

外国人投資家の投資可能な公開株式数 一部の国では企業に対する海外投資が厳しく制限されている。制限が非常に厳しく、国際投資家の需要が大きい場合、外国人投資家の投資可能な株式数は高頻度ですぐに枯渇する。

この指数に関してS&Pは、銘柄に適用される理論的な外国人投資限度(S&Pの浮動株修正係数[IWF]で算出)のみならず、実務上の投資可能な限度(実際に外国人投資家が投資可能であることがわかっている株式数と定義される)についても検証する。

既存の構成銘柄の実務上の投資可能な限度が時価総額の5%以下になった場合、その銘柄は年2回の指数リバランスで除外される。追加銘柄は実務上の投資可能な限度が10%以上の銘柄に限られる。リバランス毎にすべての銘柄がこの点について検証される。

浮動株調整 浮動株修正係数(IWF)は10%超でなければならない。

浮動株調整については、「S&P Float Adjustment Methodology(S&P浮動株調整手法)」を参照。

本拠地 コロンビア、インドネシア、ベトナム、エジプト、トルコ、南アフリカ各国の国内証券取引所の上場銘柄

上場取引所 各国国内上場銘柄が適格対象銘柄のすべてとして検討される。しかし、国内未上場で先進国市場にのみ上場されている銘柄は指数への追加が検討される。

市況によっては、各国から10銘柄を指数に含めるために必要であれば、時価総額、流動性、浮動株調整あるいはまた外国人投資家の投資可能な公開株式数の基準を緩和することができる。

変更の間隔

指数は1月と7月の半年毎にリバランスされる。リバランスは1月と7月の最終立会日の引け後に発効する。検証に使われるデータの参照日はそれぞれ直前の12月と6月の最終立会日である。

追加 リバランスとリバランスの間に銘柄が追加されることはない。

除外 リバランスとリバランスの間に、合併、買収、株式買付、上場廃止などのコーポレート・イベントのために構成銘柄がS&Pシベッツ60から除外されることがある。

ティッカー

U.S. dollar version	Bloomberg	Reuters
S&P CIVETS 60 (Price Return)	SPCIVET	.SPCIVET
S&P CIVETS 60 (Total Return)	SPCIVETT	.SPCIVETT
S&P CIVETS 60 (Net Total Return)	SPCIVETN	.SPCIVETN

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。